

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS



No.275 令和7年11月28日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

令和7年
第3回 定例会

会期：9月17日～10月16日の30日間

目次

- 代表質問…………… 2～3面
- 一般質問…………… 4～5面
- 定例会活動報告等…………… 6～9面
- 委員会で取り扱った請願・陳情…………… 7面
- 予算・決算特別委員会…………… 8～9面
- 可決した意見書…………… 9面
- 議案の審議結果等…………… 10面

トップニュース

TOP NEWS

令和6年度

各会計歳入歳出決算を認定

令和6年度 千代田区各会計歳入歳出決算額

会計	歳入	歳出	差引額
一般会計	706億4,684万3,990円	659億7,384万2,102円	46億7,300万1,888円
国民健康保険事業会計	68億2,395万1,846円	59億6,433万4,653円	8億5,961万7,193円
介護保険特別会計	49億977万5,689円	47億4,411万6,097円	1億6,565万9,592円
後期高齢者医療特別会計	22億1,601万4,269円	21億4,733万5,549円	6,867万8,720円
合計	845億9,658万5,794円	788億2,962万8,401円	57億6,695万7,393円

予算・決算特別委員会を設置

決算の認定に係る議案は、全議員で構成する予算・決算特別委員会に審査を付託され、3つの分科会で詳細な調査が行われました。各分科会の主な調査事項は次のとおりです。

01

企画総務分科会

議会費、地域振興費、総務費、職員費、公債費、諸支出金、予備費を調査

02

文教福祉分科会

子ども費、保健福祉費、諸支出金、国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計を調査

03

環境まちづくり分科会

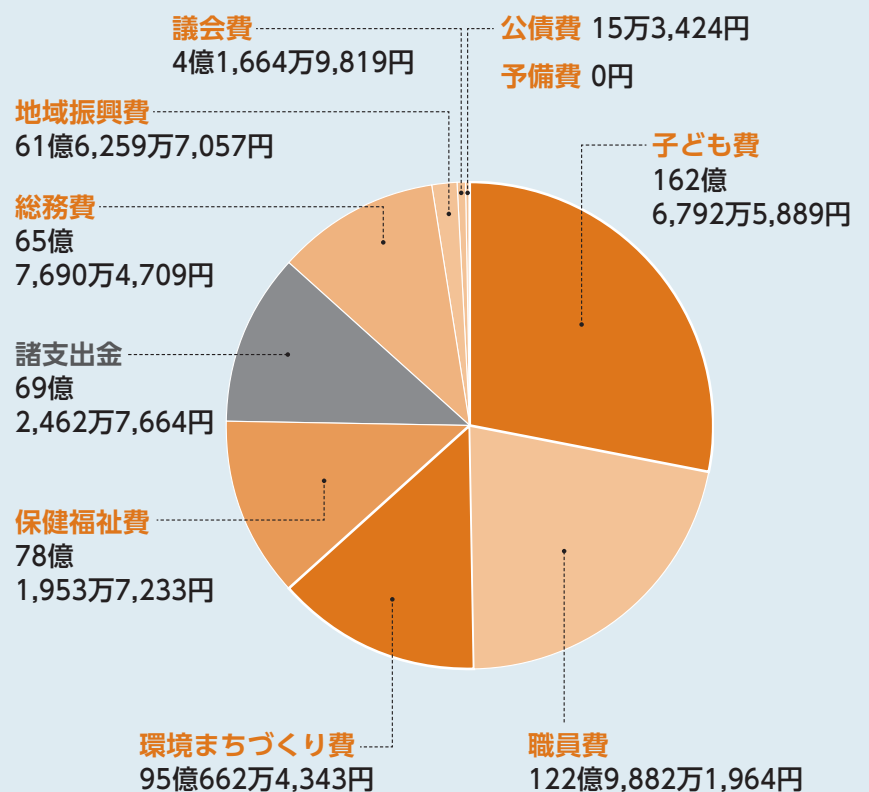
環境まちづくり費を調査

決算の 認定とは

予算執行が適切かつ効率的であったか、区民福祉の向上のためにどのように施策が展開されたか等について、議会が区の決算を審議し、認定することをいいます。千代田区議会では、次年度の予算編成に決算の審議内容を反映させるため、第3回定例会で行っています。

一般会計歳出の内訳

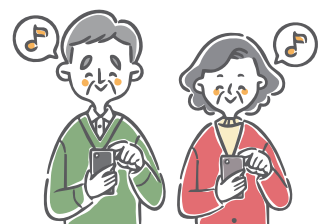
合計 659億7,384万2,102円



令和7年度

一般会計補正予算第2号を可決

補正前の額「754億2,905万2千円」に、「1,417万9千円」の予算額を追加しました。内容は、「乳児等通園支援事業」及び「デジタルチャレンジ支援」の各事業に要する経費の追加です。この結果、補正後の一般会計予算額は、「754億4,323万1千円」となりました。



Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介はこちらから

全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

次世代・都民ファースト・立憲の会

ふかみ 貴子

令和6年度決算について

問 ①樋口区政2期目初の決算への評価は②監査報告の指摘改善や人材育成等をどう進めるか③EBPM活用のこれまでの検討や実績は。

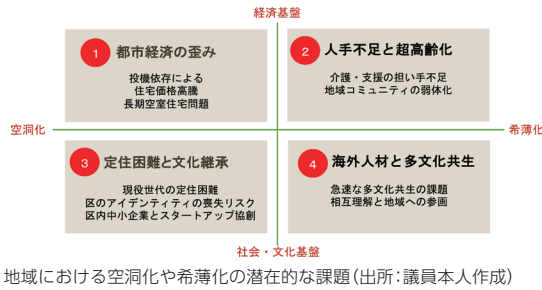
答 ①区民生活向上を目指し施策を展開。特に子育て支援、物価高騰対策を実行②指摘を自分事として受け止め取り組むよう庁内徹底し、魅力ある職場づくり等にも取り組む③数値的根拠のある予算編成で政策立案の透明性、事業の目的や必要性を明確にした。

地域における空洞化や希薄化の回避策について

問 ①空き家対策の状況は②介護職員の人材確保支援とDX活用の方

針は③地域文化継承に資する事業実施を要件に起業家の移住支援を検討しては④外国人住民の増加と多文化共生へどう対応するか。

答 ①調査で詳細把握に努め、リノベーションの活用等を検討②DX活用を含めた効果的な支援策を検討③中小企業支援と新興企業育成を両軸に雇用創出やブランド価値向上を目指す。居住誘導は今後研究④課題を把握し区の方考え方を示せるよう検討委員会を設置。



暫定活用財産の活用について

問 区が捉えている現在の課題認識と解決に向けた検討状況は。

答 一定規模以上の暫定活用財産を留保財産と位置付け計画的に保有・活用することを検討中。考えがまとまり次第、議会に示す。

千代田区議会 自由民主党

はやお 恭一

採用抑制の総括と人材育成、組織変革の必要性

問 ①過去の採用抑制の現在への影響(中堅層の職員不足)の認識は②デジタル化推進の一方で職員増の方針は人件費比率の観点からも疑問。財政の健全性確保や採用戦略等、区長のビジョンは。

答 ①年齢別構成の偏りは特別区の共通課題。経験者採用を継続②現在は人件費比率の数値目標を定めていない。6年度決算では18.8%と適正な範囲。健全性を保ちつつ総合的に執行体制を確保。

窓口改革と「来なくてもできる」DX戦略

問 ①本区のワンストップ窓口の総括は②庁舎設備の見直し等、DX

により誰もが利便性を実感できるユニバーサルサービスの実現を。

答 ①情報一元化等の成果の一方、連携窓口の配置等の課題が顕在化②9年度までに業務特性に応じたオフィス整備を実施し、対面サービスの整理と窓口体制の検討を進める。

高齢者福祉の未来構築と施設等整備の財源確保

問 ①高齢者施策の充実は働く世代を支えることにつながる。医療ニーズの高い高齢者の在宅療養を支える介護保険サービス「看多機」に対する区の考えは②DXの推進・活用と財源確保の計画は。

答 ①(仮称) 神田錦町三丁目施設に整備中。今後の需要も精査②介護現場の生産性向上等を目指したDX活用支援の検討を進める。



千代田区議会自由民主党議員団

富山 あゆみ

錦町三丁目の福祉施設周辺のバリアフリー実現を

問 令和8年度に神田錦町に高齢者・障害者福祉施設が開設される。運営開始に間に合うよう、施設沿道の段差解消、点字ブロック等バリアフリー化を同時に整備するべきでは。

答 地域からの強い要望を受け、誰もが安全に通行できる歩道整備を進めたが、神田警察通りⅡ期区間整備は3年以上遅延した。遅れを取り戻す努力を重ね、施設竣工に合わせた整備を目指す。

ひとり親家庭支援の充実について

問 離婚が増加傾向にある現代社会において、ひとり親家庭が養育

費の不払い等を理由に経済的に困窮しないよう、保証契約締結費用助成等の支援の周知等、今後も支援の充実を求める。

答 相談窓口や養育費確保支援の実態分析、他自治体事例研究のほか、確実に支援を届けられるよう周知拡充に努める。

便数減少ではない風ぐるま抜本的改革について

問 風ぐるまは交通弱者の足として重要な役割を担ってきた。減便ではなく、デマンド交通や自動運転等の新技術導入の可能性を探るといった抜本的な問題解決に向けた取り組みをしていくべきでは。

答 全ての利用者に満足してもらうのは極めて難しいが、様々な課題への解決の可能性について多角的に検討を行う。



出所: 千代田区提供

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団
米田 かずや



区内外国人児童・生徒の増加について

問 区内の外国籍の児童生徒は年々増加している。言語や学習支援等多くの課題があるが、区としてどのように受け止めているのか。また、教育現場での支援に加え、福祉的課題をどう把握しているか。
答 学習・学校生活への支援とともに、保護者を含め日本の生活への適応に向けた支援等も必要。両親が海外赴任で不在等、個々の課題を認識しており、関係部署と連携し必要な対応策を検討する。

区内のマンション取引等に関する要請について

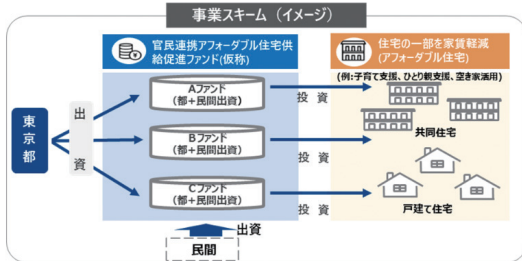
問 ①区長の要請はどこまで実効性を保ち、区民生活の改善に直結

するのか②居住の安定と地域コミュニティ維持のために追加策は。

答 ①対象は市街地再開発事業等に伴い販売するマンション。区と協議しながら進めるため、強制力を持たせずとも実効性は高い②投機・転売目的の購入を抑制しつつ利用しやすい住宅供給を検討。

東京都アフォードブル住宅施策について

問 市街地再開発や既存ストック活用と結び付け、区の人口政策や多文化共生の推進に資する施策としてどう具体化していくのか。
答 規制緩和やリノベーションへの助成制度、市街地再開発事業と連携した整備等あらゆる面から検討。手頃な価格で持続可能な都市の環境づくりに資するアフォードブル住宅の供給を進めていく。



出所:東京都ホームページ

日本維新の会千代田議員団
春山 あすか



DX推進によって明らかとなる制度設計上の諸課題

問 社会保険や医療のDX推進において法制度や予算構造から起きる課題や弊害にどう対処していくのか。個人情報等を有し、現場で実際の業務を行う基礎自治体こそ声を上げていく必要があるのでは。
答 自治体が保有する個人情報の利用には強い制約があり区単独で解決できるものが少ない。国によるガバメントクラウド標準化に向け個人情報保護の観点を意識しつつ慎重に研究・検討を進める。

税の流れの可視化と区のインフラ管理の効率化

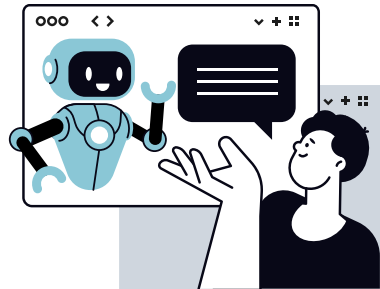
問 ①事業単位での財政情報の可視化への取組みは②道路や橋梁等

のインフラや公共施設のデータをどうマネジメントしていくのか。

答 ①単なるデータ公開ではなく、税の還元を区民が実感できる手法等を研究②システムで一元的に管理し、蓄積データを計画策定や予算編成に活用しながら税の使われ方の透明化も検討していく。

自治体のAIに向けた取組みと人材活用

問 ①AIフレンドリー行政への取組み状況は②人材はコストではなくソフトインフラ。現場で区民と交わる機会の創出が大切では。
答 ①生成AI活用方針等を策定、10月から全庁展開し活用を促進②対面でのコミュニケーションの機会創出はAIでは代替できず、職員自らが行うべきもの。対話力や傾聴力の向上に努めていく。



令和7年第3回定例会 会期日程 (会期:9月17日～10月16日の30日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程
9/17	議会運営委員会 本会議(会期の決定・区長招集挨拶等)
18	議会運営委員会
24	議会運営委員会
25	本会議(代表質問・一般質問)
26	本会議(一般質問・議案の付託等) 予算・決算特別委員会
29	企画総務委員会 文教福祉委員会 環境まちづくり委員会
30	予算・決算特別委員会
10/1	予算・決算特別委員会 企画総務分科会 予算・決算特別委員会 文教福祉分科会 予算・決算特別委員会 環境まちづくり分科会

月/日	本会議・委員会関連等日程
2	予算・決算特別委員会 企画総務分科会 予算・決算特別委員会 文教福祉分科会 予算・決算特別委員会 環境まちづくり分科会
3	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会 契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
8	議会運営委員会
9	予算・決算特別委員会(総括)
10	予算・決算特別委員会(総括)
14	企画総務委員会 文教福祉委員会 環境まちづくり委員会
15	議会運営委員会 環境まちづくり委員会
16	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介はこちらから

全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

田中 えりか (国民)



災害級の猛暑への対策は

問 猛暑はもはや災害。自助努力から更に進んだ防災・減災対策と捉え直すべき①緩和策や適応策について区の見解は②屋外の催し等の実施可否を判断するガイドライン等、実効性ある支援が必要では。

答 ①積極的な対策が必要。遮熱化等での建物整備の規制緩和推進とともに熱中症対策等の適応策も実施②より分かりやすい行動基準の提示等、対応強化に努める。

宅配ボックスの設置推進支援

問 ドライバー不足の深刻化を背景に国は宅配ボックスや置き配を標準とする検討を始めた。自治体でも設置助成が広がっており、一部で義務化の動きもある。本区においても利便性やマンション価値の向上に資することから推進すべきでは。

答 国が支援を実施しているほか、自治体独自の取組みもあると認識。区が独自に支援を行う意義や効果等を研究する。

白川 司 (自民)



新築マンション販売の現状は？

問 (一社)不動産協会に対する新築分譲マンションの5年間転売禁止等の特約導入の要請に当たって、実需・投機の比率、複数戸購入の傾向、空き住戸の割合等、区が把握している具体的内容とは。

答 あるマンションでは所有者と物件の住所が一致しない住戸が7割に及んでいる。全体の詳細を把握してはいないが、居住実態のないマンション所有の増加を懸念。

上記の今後の展望と対策は？

問 今回のスキームが一定の成果を上げた後には、再開発・整備地区以外にも同様の特約を拡げていく考えはあるか。勇気と具体策をもって大胆に挑んでほしい。

答 今後は販売・投機動向を注視し、国内外の事例も参考にしながら対応策の検討を進める。都のアフォードブル施策とも連携し、新築に限らず中古・賃貸住宅等多様な供給手法についても検討を進める。

小林 たかや (自民党)



健康寿命が延びるまちの実現は

問 健康寿命の延伸にはDX活用が不可欠①区内は単身世帯が半数以上、年間約25名孤立死の現状認識②高齢者支援や孤立防止に資するデジタル施策をどう考えるか。

答 ①できる限り減らすべく生活圏域での居場所等創設事業を社会福祉協議会と連携し今年度開始②一例としてシルバー人材センターで認知機能まもりAIアプリを導入、区政においても幅広く研究する。

ドローン活用の可能性について

問 高層建築物が密集し、行政・経済・交通の機能が集中する本区で大規模災害が発生すれば影響は甚大。都市特性や災害リスクを考慮し、ドローンを防災・生活支援で活用する展望への方向性と見解は。

答 本区は人口集中地区に該当し重要施設も多く飛行は困難だが、制度改正や他自治体の実証実験等を注視し、実験実施も含めた研究の中で課題等を整理していく。

永田 壮一 (自民)



外国人対策について

問 ①簡単にビザ取得できる日本への移住増により区内の中国人住民は倍増。区立学校の外国籍児童の通訳支援等費用を個別請求しては②在留資格が適正か把握は。

答 ①国の教育を受ける機会保障の観点からその考えはない②入国管理局の通知が共有され住民基本台帳の更新を逐次実施。

九段坂整備について

問 ①武道館側植栽の整理で歩道拡幅が可能。都と協力し実現を②歩道橋の撤去や改修、横断歩道の設置に向け区の調査を。

答 ①植栽帯大幅削減の検討が有効と考え都に対し強く働きかける②区で確認するとともに警視庁に対して働きかけを行う。



出所：議員本人提供

えごし 雄一 (公明)



不登校対策の推進

問 ①SSRの周知徹底や利用希望者把握の仕組みが必要②区主導で情報共有や相談の場設置を。VLP(バーチャル・ラーニング・プラットフォーム)利用も進めては。

答 ①保護者会等で周知徹底を図るとともに学校と連携し実情を把握②VLP内での相談会や情報交換等、活用の可能性を検討。

カームダウンスペース等の設置

問 感覚過敏のある人の81.9%が外出を諦めた経験がある。合理的配慮の観点からも、区内公共施設等にカームダウン・クールダウンスペースの設置を検討しては。

答 富士見小SSR整備で設置、今後は各校への展開も検討。他団体の例も研究する。



出所：議員本人作成

岩佐 りょう子 (次世代)



内申書について

問 内申書の在り方は生徒の未来を左右する①学校や年度等で評価平均差が大きく、固定化されて見える②客観・信頼性の確保と生徒・保護者への丁寧な説明を。

答 ①絶対評価のため差は生じ得るが、固定化と見えてしまう等の不安にはより分かりやすい説明に努める②定期的な説明はもとより、学習状況等の積極的評価とともに、指導との一体化をさらに進める。

アニメ等コンテンツの活用

問 マンガ・アニメを文化資源として重視すると明確化し、文化施策やシティプロモーションに対し体系的に組み込むことや観光・地域振興への活用の見解は。

答 策定中の第5次文化芸術プランでポップカルチャーを文化資源と明記、取組みも検討。また区内出版社等と連携してオリジナルマンガ・アニメをふるさと納税の返礼品とする等、区の魅力発信を強化。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから

全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

おの でら 亮 (次世代)



ふるさと納税 寄附獲得の方策

問 総務省の制度変更を受け、寄附獲得拡大の対策や戦略をどう講じるか。専任担当者の増員やPR強化、返礼品拡充が必要。

答 ポータルサイト運営事業者との契約が適切なものとなるよう引き続き見直しつつ、地域資源を生かし、制度の適切な運営とPR、魅力発信に今後も努める。人員体制は人事全体の中で適切に対応する。

道路・停留所に日よけ設置を

問 新たな暑さ対策を早急に進める必要がある。人流が多い道路上や風ぐるまの停留所への日よけ設置を進めるべき。風ぐるま事業継続の見通しと投資可能性は。

答 今年度は区道交差点でモデル的に日よけを設置。来年度以降は都道含め庁内で連携を図り計画的に設置する。風ぐるま停留所への上屋設置も事業継続可能性、投資可能性、費用対効果を勘案し、有効性と設置可能性の検討を連携して進める。

の ざ わ 哲夫 (維新)



全世帯向けエアコン購入助成等

問 都の高齢者・障害者世帯向けエアコン購入補助制度と連携し、区独自に上乗せして全世帯対象のエアコン新規購入・買替え・修理の補助制度を新設しては。

答 都の補助制度がある中で区が独自に全区民を対象とした補助を行うかは、その必要性や効果等を含めた検討が必要。一方で都の補助制度については区としても区民への積極的な周知に努めていく。

デジタル地域通貨等早期導入は

問 デジタル地域通貨・地域ポイント制度を早期導入しては。地域経済活性化、住民サービス、行政運営へのメリットが期待できる一方、コストやデジタルデバйд対策等が課題と考えるがいかがか。

答 議員指摘の課題は重要な視点と認識。いずれの取組みにおいてもメリットや課題があり、導入可能性や意義を調査検討中。DX戦略に基づき早期の結論を目指す。

牛尾 こうじろう (共産党)



不動産協会への要請について

問 ①どう実効性を持たせるのか②住環境整備等を要請できる住宅基本条例第20条を、今回要請の法的根拠に位置付けては③区は再開発を推進しながら投機マネー規制を要請しているが、矛盾するのでは。

答 ①都が許認可権を持つ市街地再開発事業でも区と協議して進めるので実効性は高い②あくまで再開発事業に関わる案件の要請であり条例との対応は考えていない③地域コミュニティ希薄化等を防止し都市機能向上に資するもので矛盾はない。

エアコンの設置助成を求める

問 東京ゼロエミポイントの補助要件は高性能エアコンの購入。年金のみの高齢者世帯等には高額で買替えや購入を躊躇する。他自治体では上乗せ補助を行っており、本区でも独自助成を行うよう求める。

答 現時点での上乗せ助成は想定していないが、他自治体の事例を研究していく。

桜井 ただし (自民)



帰宅困難者対策と検証について

問 津波の対策時①受入要請・対応施設、利用者数は②総合防災システムの有効稼働と今回の貴重な経験から今後の課題は。

答 ①108か所受入要請し12か所開設、利用者なし②情報を一元管理し効率的な情報発信に活用。操作に不慣れな点が課題。訓練方法等を改善し熟練度向上を図る。

帰宅困難者訓練
(出所:令和元年度
東京都・港区合同
帰宅困難者対策
訓練報告)

投機目的の不動産取引

問 ①区の調査内容と結果は②区民が安心して住み続けられるよう適正価格維持を。

答 ①近年竣工の区内マンションの登記簿調査、事業者ヒアリングを実施。住所が異なる所有者が7割超のマンションも②投機抑制と住宅供給の両面で調査・検討。

小枝 すみ子 (声)

(声)



個人情報保護

問 情報開示対応の迅速化や録音・動画の自己情報開示実現のために、体制の充実や組織の一本化を図り、予算の確保を。

答 現時点で人員体制拡充等は考えておらず、録音や動画は形態が多岐にわたるため、現行予算等を前提に適切に判断する。

都市型環境政策

問 ①ペロブスカイト太陽電池の実証実験での成果と展望②区の婦恋村等への植樹は地方連携の重要な取組み。見える化を。

答 ①天候変化の影響が小さい等を確認、公共施設での活用等も見据え情報収集を行う②ホームページも含めて情報発信ができるよう、しっかり検討していく。



出所:日本熊森協会

岩田 かずひと (次世代)



生活環境条例と臨時喫煙所

問 本区は区内全体が路上禁煙地区だが、地域行事での臨時喫煙所設置基準等がない。条例や要綱の改正が必要ではないか。住民から疑念を抱かれないような対応を。

答 地域行事等における臨時喫煙所設置許可の手続きはないが、主催者が所要の許可を得た上で適切に管理している場合は条例の趣旨に反しないものとして取締り等を行っていない。その場合も受動喫煙防止等の対応を求める指導を行っている。

千代田区官製談合事件について

問 時効で処罰対象にならなかったから元副区長は不関与との結論はあまりに浅いか。退職金返還を求めるべきは事件を公にしてくれた最大の功労者である元部長ではなく、事件に関与した元副区長では。

答 元部長への返納命令は有罪判決確定により条例に基づき実施。前副区長の関与は事実認定なく、返還は法の根拠を欠く。

定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案11件のうち6件を審査しました。議案の審査経過等をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案5件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について」は、千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定期間が満了することに伴い、令和8年4月から令和13年3月までを指定期間として、株式会社コンベンションリンケージを指定するものです。

〈審査経過〉

令和7年3月に規則を改正し、区民の優先予約と区民利用料金の減免を定め、それを踏まえた要求水準を作成して事業者募集したこと。具体的な利用料金は今後指定管理者候補者と協議して決めていくこと等が明らかになりました。

「千代田万世会館の指定管理者の指定について」は、千代田万世会館の指定管理者の指定期間が満了することに伴い、令和8年4月から令和13年3月までを指定期間として、株式会社日比谷花壇を指定するものです。

〈審査経過〉

今回の選定に当たり、現建物で指定管理業務を行う要求水準で進めたこと。一方、再開発での機能更新を控えているが、そのスケジュールに影響を及ぼす状況が生じた際は、次の指定管理の時期までに、指定管理者及び区内葬儀事業者と連携を取り、財政面を含め適切な対応が取れるよう検討していく考えであること。小規模な葬儀が増えることで収益力が落ちているが、現行の事業者は終活に関する講座を開催する等により収益を確保するよう努めているところであり、新たな指定管理期間も続けられるよう区として指示、指導していく考えであること等が明らかになりました。

その他、「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」等3議案を審査しました。

文教福祉委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」は、児童福祉法の一部改正に伴い、新たに創設される「乳児等通園支援事業」の実施に当たって、国の定める基準に基づき、設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するものです。

〈審査経過〉

現場の負担増については、認可の段階で十分な体制が組まれているかを判断するとともに、スタッフの確保等を区が補助することで対応すること。土曜・日曜日の実施、食事の提供、障害児・医療的ケア児の受入れ、広域利用等については、これから実施される保育所等の公募・選定の中で体制や状況を踏まえながら決定されていくこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

国の基準では、保育の質の低下や保育士の不足が大きな問題となっている中で、在園児童への保育の影響が懸念される。今、「こども誰でも通園制度」を導入するのは時期尚早であり、保育士の処遇改善と配置基準の改善を行い、保育現場の抜本的な拡充をまず土台としてつくるべきであるため、反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

審査において試行的事業のスキーム、予約システム、他区の状況、また、現場職員等の処遇改善に努め、不特定多数の子どもを受け入れられる体制を整える旨が確認できた。試行的事業を通じて課題の改善に努めるとともに、混乱なく本格実施につなげ、より良い制度へと発展させていくことを期待し、賛成する。 【西岡】

その他、令和7年度敬老会の実施状況等について報告がありました。

環境まちづくり委員会

主な報告事項は以下のとおりです。

「食品ロス削減全国大会について」は、食品ロス削減に対する国民の意識醸成、機運を高めることを目的に、食品ロス削減の日である10月30日に毎年開催され今回9回目となること、日時は10月30日木曜日の午前10時から午後5時まで、会場は大手町プレイスホール&カンファレンス、食品ロスに貢献した団体等への表彰式、食品ロス削減絵画・標語展表彰式のほか、親子で楽しめる企画もあり、来場自由なのでより多くの方にご来場いただけるよう周知に努めていく等の報告がありました。

「橋梁ライトアップに向けた試験点灯の実施について」は、区では令和5年3月策定の千代田区川沿いのまちづくりガイドラインに基づき、地域資源である水辺を誰もが快適に楽しめるにぎわいのある空間にするための検討を進めてきたこと。今回はその一環として、橋梁のライトアップに向けた試験点灯を行うこと。対象とする橋梁は水面を含めて橋を眺める視点場を考慮して絞り込み、お茶の水橋及び新三崎橋としたこと。期間は12月1日からの2か月間、時間は午後4時30分から午後11時まで、今回は試験点灯として実施するため、GPSビッグデータを活用した橋梁周辺の夜間歩行者通行量調査、現地観覧者へアンケート等を実施し効果検証を行うこと。令和8年度は実証実験の結果を考慮してライトアップする橋梁や整備方針を確定する実施計画を策定、令和9年度以降は順次計画にのっとり、設計工事を進めていく予定であること等の報告がありました。

その他、千代田区役所食堂への生ごみ処理機設置、千代田区第4次住宅基本計画の策定について、報告がありました。



定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランス フォーメーション 特別委員会

現在実施している区民参加型デジタルプロジェクトの進捗について、報告がありました。今年度は、中学生がワークショップ形式でアイデアを練り上げ、区へ提案することになっています。今回参加することになった中学生8名は、これまでメタバースやAIカメラの活用等、様々なデジタル技術を見学・体験し、解決したい区の課題を設定してテーマを決定したとのことでした。テーマは、「区の情報発信力の強化」、「ITリテラシーの向上」となり、今後、ワークショップの中でアイデアをまとめ、成果を発表すると説明がありました。

その他、区の情報システムについて、次期リプレイスに向け、セキュリティの現状把握や職員アンケート等を実施し、令和9年度の稼働に向けて準備を進めていると報告がありました。

契約にかかる 不正行為等再発防止 特別委員会

契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会において申請した刑事確定訴訟記録の閲覧について、東京地方検察庁から許可され、委員長はじめ閲覧希望者として申請した委員3名の計4名及び事務局職員4名による閲覧及びメモの作成が終了したとの報告を受けました。

委員会では、閲覧メモの取扱いについて、法的・倫理的な慎重さが求められることや、名誉棄損、プライバシー侵害の法的リスクを考慮する必要があることから、弁護士によるリーガルチェックを行うことを決定しました。

また、リーガルチェックに当たり、弁護士の選定や確認事項については、各委員からの意見を踏まえ進めることを確認しました。



閉会中の主な活動 (7月5日～9月16日)

月/日	日 程
7/17	区民集会運営協議会
23	千代田区平和使節団 議員派遣（～7/25） 【おのでら亮議員 場所：沖縄県】
25	議会運営委員会 企画総務委員会 環境まちづくり委員会
28	文教福祉委員会
8/5	千代田区平和使節団 議員派遣（～8/7） 【白川司議員 場所：広島県】
8	千代田区平和使節団 議員派遣（～8/10） 【小林たかや議員 場所：長崎県】
25	議会運営委員会
9/3	政務活動費交付額等審査会
4	文教福祉委員会 環境まちづくり委員会
5	企画総務委員会
10	〈令和7年第3回定例会告示日〉 議会運営委員会
16	議会運営委員会



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和7年7月5日～10月16日)

詳細は、区議会ホームページで
ご覧になれます。



請願・陳情名 (受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和7年10月16日時点)
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、 区民をはじめ多様な人が話し合って決めるまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、 実効性ある実施を議会から区に求めていただく陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画附帯決議の実行についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の「全ての関係者が」話し合える場づくりの開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町計画の附帯決議に基づく適切な「前向きな話し合いの場」をお願いする陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する話し合いの場に係る陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区の官製談合事件の真相究明のために、第三者委員会もしくは百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都計審の附帯決議に基づく適切な「前向きに話し合える場」つくりに関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
人身の危険回避のための「都市計画三番町地区地区計画」の早急な見直しの陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
人身の危険回避のための第一種住居地域での巨大タワーパーキング禁止の陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
安全で快適な千代田区の生活環境の整備に関する条例に関する再陳情	企画総務委員会	審査終了
地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することを求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区内にキャッチボール広場の設置を求める陳情書	環境まちづくり委員会	審査終了
居住安定支援家賃助成制度の改善等を求める陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
「千代田区職員等公益通報条例の対象者拡充および 黒塗りにされた有資格者情報の不適切な情報公開について」の陳情	企画総務委員会	審査終了
人身の危険回避のための第一種住居地域での巨大タワーパーキング禁止および 土砂災害警戒区域での擁壁工事の見直しに関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
二番町日テレ跡地再開発における安全・安心等に関する丁寧な説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町の日テレ跡地再開発における地域貢献と加算容積率に関する説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査

予算・決算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された2議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和7年度千代田区一般会計補正予算第2号」は、乳児等通園支援事業及びデジタルチャレンジ支援の各事業に要する経費を追加計上するものです。

質疑が行われ、質疑を終了し、討論に入り次のような意見発表がありました。

〈討論〉

【反対の意見】

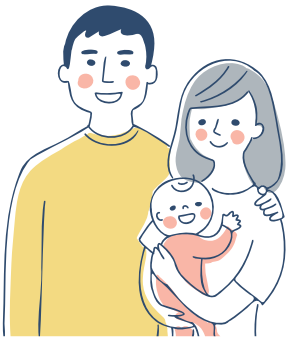
デジタルチャレンジ支援事業の高齢者スマートフォン購入費等助成事業は否定するものではないが、「千代田区こども誰でも通園制度」の試行的事業は、保育士不足の現状を踏まえれば、保育の現場や子どもにとっても負担は大きい。政府が言う「孤立する子育て」の不安に応え、「すべてのこどもの育ちを応援する」という理念には賛同するものの、現段階で通園制度を行うべきではないと考え、補正予算案に反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

補正予算第2号は、いわゆる「こども誰でも通園制度」実施経費を含み、子育て家庭の安心や子どもの健やかな成長、保護者の孤立防止に寄与するものである。令和7年度試行を経て令和8年度から全国実施を目指す計画で、千代田区が子育て支援の先導役を担う姿勢を示している。高齢者のスマートフォン購入費用助成もデジタル施策の一環として推進されており、区政とのつながりを一層支援する。これら施策は、子育て世代から高齢者まで誰もが安心して暮らせる千代田区の実現に資するため、賛成する。 【小林】

補正予算第2号は、「こども誰でも通園制度」の試行実施や高齢者のデジタルデバйд解消を目的とした予算を含み、従来の行政サービスが届きにくかった層に対する支援を強化するものである。特に「こども誰でも通園制度」は、虐待防止や要支援児の早期発見の観点からも重要な施策であり、保育の質が維持できるよう現場の声をしっかり拾いながら実施することを求め、補正予算案に賛成する。 【岩佐】

討論を終了し採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。



「令和6年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、総括質疑で多数の事項の質疑が行われ、質疑を終了し、討論に入り次のような意見発表がありました。

〈討論〉

【反対の意見】

学校給食無償化や学校教材補助、病児保育実施等の子育て支援は評価するが、高齢者や困窮世帯への区独自支援が弱すぎる。物価高騰やエネルギー高騰に苦しむ事業者への直接支援もない。補正予算でのギフトカード支給はあったものの、住民税非課税世帯など生活困窮世帯への更なる支援が必要である。まちづくりにおいては、大規模再開発による土地や家賃の上昇が住民を苦しめており、住民参加や情報公開により、住民が主人公となるまちづくりへの転換を求める。公共住宅や家賃補助の拡充が行われていない点も問題であり、余剰金の活用による国民健康保険料等の負担軽減を行い、区民が住み続けたいとの願いに応えることを求め、反対する。 【牛尾】

官製談合事件への対応や質問に対する説明不足、明らかな虚偽答弁、反省の色が見られない区政運営に強い不信感を表明する。特に、部長が刑事確定訴訟記録を確認してきたと誤認させるような表現を用いた答弁があったにも関わらず供述調書を確認していなかったことや、報道機関への法的措置を取らない理由について、説明不足や誠実さに欠ける対応が目立つ。物価高騰対策のプリペイド型ギフトカードにしても、税金の使い方が雑であり、生活環境条例の不備も認めない。今や千代田区に対して全く信用できない。よって、決算認定に反対する。 【岩田】

年間約700億円の予算は、住民に寄り添い、教育と文化を守り、住民が住み続け商売を継承できるように使われなければならない。子育て支援や福祉教育の拡充は評価するが、高齢者や住宅問題への配慮は不足している。重要なことほど住民とともに歩むべきであるにも関わらず、クローズなやり方や、住民が知った時には時すでに遅しという状況が繰り返されている。官製談合や区有地貸付問題についても、区の不誠実な対応は問題である。区民一人ひとりを大切にし、住民参加で幸せな未来を描くべきであるにも関わらず、不安の残る決算審議であったことを指摘するとともに、住民の不安を払拭し、住民思いの区政への転換を求め、決算認定に反対する。 【小枝】

【賛成の意見】

令和6年度は、未来を拓く子どもの笑顔と子育て世代の安心を育む予算として、子ども・子育て施策、高齢者施策、災害に備えたまちづくり等の施策、長引く物価高騰で苦しむ区民の生活を守るための支援・対策等様々な施策を展開してきたことは評価する。具体的事業としては、出産・子育て支援、子育てひろばの拡充、学校給食関連事業、いじめ・不登校防止プロジェクト、中小企業等経営支援、DX・GXの推進、地域福祉計画の推進、認知症支援サービスの拡充、ウォーカブルなまちづくりの検討等である。分科会、総括の質疑では、区の前向きな答弁が多くあった。質疑した内容を令和8年度予算にしっかりと反映させることを要望し、賛成する。 【えごし】

令和6年度は、物価高や人件費の上昇等厳しい社会情勢下にあったが、区民サービスの質は維持された。子育て・教育分野では、ライフステージに応じた施策が充実し、高齢者・障がい者施策では、在

宅支援や介護予防の推進により、地域で安心して暮らせる体制が整いつつある。防災・防犯分野では、地域訓練や備蓄体制強化等、安心・安全のまちづくりが進められた。分科会・総括質疑では、インクルーシブ教育やバリアフリー、神田錦町三丁目施設沿道整備について前向きな答弁があったものの、外国人問題や地域コミュニティの希薄化、住宅施策等の課題も残されている。質疑内容を令和8年度予算に反映されることを要望し、賛成する。【富山】

令和6年度は、区民目線のきめ細かなサービスや利用者本位の改善が随所に見られた。子ども費への重点配分は、ビジョン、計画、事業、成果を結ぶ明確な意思の表れであり、財政運営は、純資産や純行政コストが健全で、資産形成度や世代間公平性も良好であり、将来世代への負担を抑えている点を評価する。一方、区民ニーズの多様化や少子高齢化、人材不足、スキル変容に備えるためには、機動性向上や行政改革の必要性が指摘される。現場のDXと処遇・待遇改善を検討し、現代に即した情報運用への見直しを進め、多くの人の成長実感につながる分野への資源再配分を期待し、令和8年度予算に公開・検証・協働の姿勢で透明性の高い推進を求め、賛成する。

【ふかみ】

現状では、基礎自治体内の業務システムが統合されておらず、都や国とのデータ連携も不十分であるため、様々な課題がある。特に、国民健康保険の法定外繰入れについては、データ抽出ができないことや未納者への滞納督促業務も非効率となることも明らかになった。また、行政と区民の信頼関係構築に資する財政情報の更なる可視化や複数年度での視点で見ることも必要である。住民参加の政策立案のためにも、ガバメントクラウドのデータ連携を行い、区の共有化モデルを発信していくことを求める。執行機関の努力を理解し、令和8年度も区民生活や行政運営に新たな変革をもたらす取り組みの推進を期待し、賛成する。【春山】

令和6年度は、物価高騰をはじめ多くの課題がある中、全区民を対象とした物価高騰対策や地域経済活性化事業を実施したことを高く評価する。区独自の子育て・教育への経済的支援は、現役世代の安心を支えた。地域コミュニティや文化芸術活動、商店街や中小事業者への支援も着実に行われた。防災・減災、デジタル化推進、環境配慮型まちづくり等、将来を見据えた取り組みも進められている。行政には、税金を納める区民の立場に立った行政運営を意識することが求められている。効率的・効果的な行政運営が重要であり、今後も施策の効果検証を一層強化し、情報公開をさらに進め、区政への信頼回復を期待し、賛成する。【田中】

令和6年度における定期監査結果報告書では、内部統制と人材育成の項目で踏み込んだ指摘がなされた。新規採用職員や派遣職員の事務処理誤り、主任級の離職増加は、過去の採用抑制により指導力と統制機能が弱体化している組織的問題の表れである。小さなミスの積み重ねは信頼低下につながり、令和8年度予算編成方針の挑戦する組織風土への変革をスローガンで終わらせず、人への投資で具現化することを求める。令和8年度予算では、区民の安全・福祉分野の人員確保、指導的立場の職員への研修義務化、中堅職員の定着と育成支援を要望する。区政の信頼は人材育成と安定から生まれるものであり、執行機関が改善を進めることを期待し、賛成する。

【はやお】

討論を終了し、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

可決した意見書

千代田区内の投機目的での マンション取引の防止を求める意見書

近年、千代田区内において一室、数億円規模の高額マンションが販売され、投機目的による取引によって価格高騰しています。投機的購入は、国内外の富裕層や法人によるもので、多くは居住されずに空室が増加しています。

本来は市場原理に任せるべきであっても、過剰な投機的取引に伴う価格高騰、家賃上昇傾向が続くと生活のための住宅確保が困難となり、結果として区内の子育て世代の流出、小学校の存続や地域コミュニティの維持に深刻な影響を及ぼし長期的には空洞化が懸念されます。

以上の指摘から、国と東京都に対し、投機目的のマンション取引、特に外国人投資家による短期的な売買を防止するための抜本的かつ実効性のある対策を講ずるよう、下記の事項について継続的な対応を強く求めます。

記

1 税制面での抑制措置

短期転売益に対する課税強化や非居住マンションに対する固定資産税・都市計画税の加重課税等、実効性のある税制措置を講ずること。

2 実需優先の制度

分譲契約時に一定期間の居住義務を課す制度の検討、居住実態調査の定期的な実施と結果の公表と罰則を講ずること。

3 外国人による住宅購入に関する規制

外国資本による投機的購入の監視と情報公開、また、外国人が購入した物件の居住状況を把握し、非居住物件については課税、マネーロンダリング対策を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先)衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、東京都知事



議案の審議結果等

(令和7年第3回定例会)

可

(可決)

否

(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名称略称		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日
							西岡めぐみ	大坂隆洋	のざわ哲夫	小枝すみ子	えごし雄一	米田かずや	牛尾こうじろう	岩佐りょう子	小野なりこ	池田とものり	はやお恭一	春山あすか	欠員	白川司	永田壮一	入山たけひこ	田中えりか	岩田かずひと	小林たかや	欠員	ふかみ貴子	桜井ただし	秋谷こうき	おのでら亮	富山あゆみ	
							自民党	自民党	維新	声	公明	公明	共産党	次世代	次世代	自民党	自民党	維新		自民	自民	次世代	国民	次世代	自民党		次世代	自民	次世代	次世代	自民	
議案名等																																
委員会提出議案	千代田区内の投機目的でのマンション取引の防止を求める意見書	22	21	21	0	可	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○		○	○	10/16
	千代田区名誉区民の選定の同意について	23	22	21	1	可	無記名投票												無記名投票						無記名投票			議長は採決に加わりません	無記名投票		10/16	
	千代田区副区長の選任の同意について	23	22	21	1	可	無記名投票												無記名投票						無記名投票				10/16			
	千代田区教育委員会委員の任命の同意について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	令和7年度千代田区一般会計補正予算第2号	23	22	20	2	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	令和6年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	23	22	19	3	可	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	千代田区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	23	22	21	1	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	旧区立練成中学校改修工事請負契約について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	旧区立練成中学校改修電気設備工事請負契約について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	千代田区立内幸町ホールの指定管理者の指定について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
	千代田万世会館の指定管理者の指定について	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/16
報告	令和6年度千代田区健全化判断比率について																														9/26	
	二七通り東地区歩道拡幅工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														9/26	

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数23名
◇ 会派名(略称) 次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代)／千代田区議会 自由民主党(自民党)／千代田区議会自由民主党議員団(自民) 公明党議員団(公明)／日本維新の会千代田議員団(維新)／日本共産党(共産党)／国民民主党(国民)／ちよだの声(声)

区議会議員救命講習会を実施

令和7年9月1日、公益財団法人東京防災救急協会より講師をお招きし、救命講習会を実施しました。

本講習会は、区議会議員として緊急時や災害対応活動に備え、最低限の救命応急処置を身に付けることを目的としたものです。

当日は、心肺蘇生法、AEDの使用方法、窒息時の対応、止血の方法等について知識の確認と実技訓練を行い、実際の現場で活用可能な救命技能を習得するとともに、「自動体外式除細動器業務従事者」としての認定を受けました。



令和7年第4回 定例会の主な日程

11/12(水)	告示日
11/19(水)	招集日
11/26(水)	代表・一般質問
11/27(木)	一般質問

※日程は変更となる場合があります
※詳細は区議会ホームページをご覧ください



区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎富山 あゆみ(自民)	えごし 雄一(公明)
○牛尾 こうじろう(共産党)	岩佐 りょう子(次世代)
西岡 めぐみ(自民党)	田中 えりか(国民)
のざわ 哲夫(維新)	ふかみ 貴子(次世代)
小枝 すみ子(声)	

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、「区議会公式X(旧Twitter)」では、区議会の最新情報を発信していますので、ぜひご利用ください。



ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>

メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp



公式X(旧Twitter)
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)